

原 著

豚サーコウイルス2型および豚繁殖・呼吸障害症候群ウイルスに感染した肥育豚からの *Cryptosporidium parvum* pig genotype II と *Cryptosporidium suis* の検出油井 武^{1)†} 芝原友幸²⁾ 河本麻理子³⁾ 山品恒郎¹⁾ 吉田輝美¹⁾
福田昌治¹⁾ 渡辺喜正⁴⁾ 久保正法²⁾

- 1) 埼玉県中央家畜保健衛生所 (〒331-0821 さいたま市北区別所町107-1)
- 2) (独)農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所 (〒305-0856 つくば市観音台3-1-5)
- 3) (独)農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所東北支所 (〒039-2586 上北郡七戸町字海内31)
- 4) 埼玉県農林部 (〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1)

(2009年3月26日受付・2009年8月31日受理)

要 約

埼玉県内の一養豚場で、2006年9月頃から数カ月にわたり肥育豚の約半数に下痢や発育遅延がみられた。2007年1月、発育不良を呈する60日齢の肥育豚4頭について病性鑑定を実施した結果、剖検時、4頭の肉眼所見はほぼ共通し、組織学的に、リンパ節では、リンパ球の減少、細胞質内封入体をもつマクロファージがみられた。4頭中3頭には、豚サーコウイルス2型(PCV2)抗原がマクロファージの細胞質内封入体に一致して認められた。4頭の肺から豚繁殖・呼吸障害症候群ウイルス(PRRSV)が分離された。さらに、そのうち2頭の組織学的所見は共通し、回腸から結腸の粘膜上皮細胞上に付着して多数の球～卵円形の原虫が認められ、免疫組織化学的に、この原虫に一致して *Cryptosporidium parvum* oocyst 抗原がみられた。同居豚40頭の糞便を蛍光抗体法で検査したところ、30頭(75%)で *Cryptosporidium parvum* oocyst が検出された。遺伝子解析により、これらは *C. parvum* pig genotype II あるいは *C. suis* と同定され、これらの *Cryptosporidium* が本事例の下痢に関与したと考えられた。本事例は、*Cryptosporidium*、PCV2 および PRRSV の混合感染症と診断した。——キーワード：*Cryptosporidium parvum* pig genotype II, *Cryptosporidium suis*, 下痢, 豚サーコウイルス2型, 豚繁殖・呼吸障害症候群ウイルス。

----- 日獣会誌 63, 61~68 (2010)

† 連絡責任者：油井 武 (埼玉県中央家畜保健衛生所)

〒331-0821 さいたま市北区別所町107-1

☎048-663-3071 FAX 048-666-8731

E-mail: yui.takeshi@pref.saitama.lg.jp